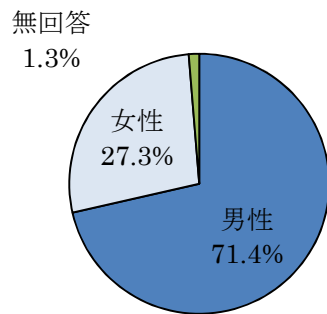
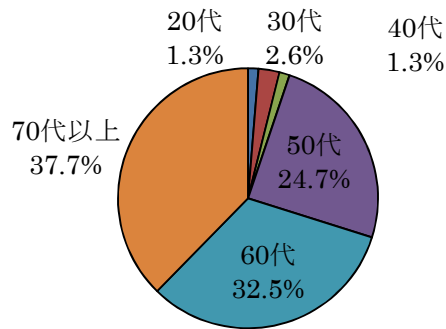


# 塩竈市長期総合計画シンポジウムアンケート報告書

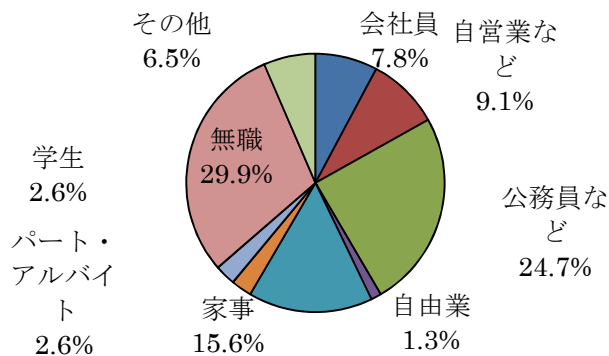
【1】性別 (1) 男性 (2) 女性



【2】年代 (1) 10代 (2) 20代 (3) 30代 (4) 40代 (5) 50代  
(6) 60代 (7) 70代以上

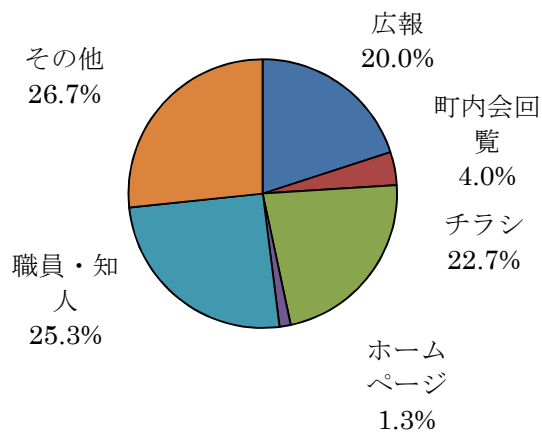


【3】職業 (1) 会社員 (2) 自営業・家族従業員（漁業、農業を含む）  
(3) 公務員・団体職員 (4) 自由業（弁護士・医師・芸術家など）  
(5) 家事（主婦・家事手伝い） (6) パート・アルバイト  
(7) 学生 (8) 無職 (9) その他（ ）



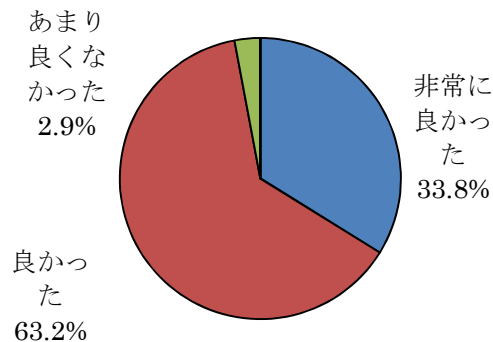
【4】今回のシンポジウムの開催について、どこでお知りになりましたか？

- (1) 広報しおがま (2) 町内会回覧 (3) ちらし (4) ホームページ  
(5) 職員、知人より (6) その他



【5】シンポジウムの内容はいかがでしたか？

- (1) 非常に良かった (2) 良かった (3) あまり良くなかった (4) まったく良くなかった



【6】まちづくりに対するご意見などをお聞かせ下さい。

**長期総合計画について】**

- 市民の意識の向上が問題ではないか。
- 長期総合計画や事業を行政と市民が協働で実施する場合、「①市民・行政の役割分担の明確化」、「②情報の共有化」、「③実施後の反省をして次年度に送る」が重要だと思う。①②は各自の努力で何とか消化できるが、③についてはいつのまにか行政のみの反省となっているので、市民と協働で反省を行ってから、ぜひ次年度以降の事業にそれを反映して欲しい。
- 市民からの提言等が、「どこに」「どのように」取り入れられているかを機会のある都度に説明して欲しい。
- 長期総合計画と今後の港づくりとの関係について、パネラーの意見を十分に参考し、「住みよい」・「もう一度来て見たい」街にして欲しい
- 人口減少対策が大変重要ではないか。
- 市民一人ひとりがどう実行、実現していくかが重要ではないではないか。どんな立派な計画ができて、実現しなければ意味がない。若い世代をいかにして取り込むかが大きな課題ではないか。
- 基本構想については理解を深められた。次回は具体的な交流観光についての計画が策定された後に説明をして欲しい。
- 今後10年の塩竈のあり方について審議されている事、ご苦労様です。
- 今、塩竈がやるべきことは何であろうか。住みやすいまちづくりにはどうすればいいのか。
- 市民一人ひとりにわかりやすい表現で計画書の作成をお願いします。
- 大滝先生の長総の意気込みは大切な点について触れていた。それは「名目的になりやすい長総をもっとまちの活力になるになる為に地域資源をどのようにしたら生きるのか」ではないか。先生の持論でありテーマであると思う。

### 【長期総合計画について】

- 一方的な主旨説明は市民参加の意義が無くなる。まず市民の考えがどこにあるのかからスタートすべきではないか。
- 塩竈の活性化に取り込むなら、「産・学・官」一体の取り組みをが出来るように、具体的に組織化をするべき。特に三氏にはお願いすべきであろう。
- 市民参加型のまちづくりを市民として期待している。
- 第5次長期総合計画の完成が楽しみである。

### 【まちづくりについて】

- 資源は活用されてこそ資源であるという実感を得た。
- 塩竈の歴史建築物の見学会をして欲しい。
- 市民の「集合知」を上げる、どう結集していくか、常に課題はこの辺にあると思う。
- 案内板の不足、見にくさを普段から痛感していたが、本日のパネリストの方々がその件についてご指摘された。共感できた。
- 塩竈市には駐車場がな。また駐車場料金が低い。
- 市民が塩竈を知ることだと思う。生まれ育って史跡・神社等見て知ってはいるが、歴史的なことは何も分からないのではないかと。地域の方に鹽竈神社や塩竈海道を案内するのもいいではないでしょうか。町内会代表で鹽竈神社、海道、問題になっているところを案内(ガイド)したらどうでしょうか
- 斎藤先生のおっしゃるとおり、迷路を「ぶらぶらりん」を持って、楽しみながら歩きましょう。
- 塩竈のまちは中身の濃いコンパクトで楽しい街です。若い人達、子ども、そして高齢な方、まずは歩いて楽しめるまちを目指していく必要がある。防潮堤にそってシオーモの径がプラスされた。まだまだ未完です。途中で投げださないで頑張りたい。塩竈は私の終の住処である。
- 塩竈のまちは、まず歩くことによってより魅力が増すまちだと思う。外回りに車を置き、旧市街はウォーキングをしてもらって、本町、宮町、西町、南を巡り、そしてまた外回りのマリゲートの駐車場、食事、景観を楽しんでもらうといいのではないかと。
- 交流人口を増やすためには魅力あるまちづくりが必要である。魅力あるまちづくりは魅力ある住民に出来る事である。まず住民の心豊かなまちづくりが大事であり、子どもを始め、教育が大事である。人と人との繋がりを結びつけるためにも、文化、歴史を研究掘り下げつつ、観光の資源を磨く、そして産地のものを売り、効果を出すという取組みを同時に続けたい。
- 桂島をトンボの島にすると昔の子どもの頃の塩竈の情景(空)が蘇ると思う。
- 鹽竈の”鹽”の字は岩塩ではない人工の塩を意味する。竈(かまど)であって釜(かま)ではない。古代の基幹産業は塩づくりだけはなかろうか。かまど式の製塩を強調して欲しい。
- 地名の書き方を塩釜に統一して欲しい。
- 市内には神社が約30社ある。これの縁起を記録することが必要ではないか。
- 塩竈あつての松島だと思う。松島や多賀城市とも塩竈が地域観光において協力するべきではないか。松島湾とも言うけれど塩竈湾でもある。
- マリゲートから見て対面している向かい側を自然豊かな土地・公園にして欲しい。
- 鹽竈神社の裏坂を坂のきつさを感じないように楽しくみんなで歩ける坂にして欲しい。月に1回歩いているがいつも汚くなっている。
- 塩竈の街歩きを楽しみながら塩竈の良さを知りたい。その為にも市営のトイレが欲しい。
- インターネットの時代である。一度来て、二度と塩竈に来たくないまちではなく、何度来ても楽しいまちづくりをして欲しい。
- 塩竈は高台に住居が集中している。高齢者が増加していく中、高齢者が住みにくい街では、近隣の多賀城・利府に人が引っ越してしまい、人口の減少になってしまうのでは。

## 【まちづくりについて】

- 石巻がいつもテレビに出ている。塩竈もそうになって欲しい。また、塩竈の物産を集めた店をみんなが行きやすい所に作って欲しい。駐車場が無いと人は集まらない。
- 港に人工砂浜を作り、若い人たち、家族連れを呼ぶことです。工場体験見学をしても良いのでは。
- 若い人達に多く住んでもらうために、子ども達が楽しく遊べる公園が中心地以外にも欲しい。
- 町の中を歩きやすく整備し、来訪者に神社やマリングートなどに行きたくなる様に整備してはどうか。
- 町がきれいになり、増々観光地として呼び込める事が出来るようになったと思う。) )
- 塩竈の道は車で走ってもわかりにくい。
- 駐車場なども分かりやすく表示して欲しい。
- 文化遺産は学術的な裏付けを十分に調べて表示して欲しい。
- 道路の標識やたどり着くためのマップの整備が必要ではないか。
- 壱番館の前あたりでビデオ上映をして欲しい。お客様が立ち寄れる店も欲しい。
- 塩竈は歩きづらい。人の目線にあった案内板があれば、旅行者にも分かりやすく喜ばれると思う。
- パネラーの言うとおり、神社、マリングート、何処行くにも交通標識が分かりにくい。
- 車での買い物に駐車するところがないので非常に不便である。将来に向けて考えていかないと、商店街の活性化に繋がらないと思う。
- 歴史遺産・文化遺産の再評価することと、市民が知るところが大事である。
- 自分の町だから大切にしたいと思う。
- どのまちでも、町村興しに熱心である。塩竈もその例に漏れぬまちである。
- 色々知ることはおもしろい。
- 塩竈は大きく道路を整備しなくては発展しないと思う。
- 観光客の宿泊する施設が殆どなく、素通りしていると思う。
- まちの一体感をつくるのが肝心かと思う。
- 塩竈の良いところを知り、知らせるための取り組みが必要であると思う。(例)塩竈100景・塩竈散歩道100など
- 海上保安庁の船を飾ってはどうか。
- お年寄りも若者も誰もが住みよいた感じのまちになればいいと思う。
- 塩竈に来る友達に「道が分かりにくい」と何度も言われてあきらめていたが、理由を説明し、逆に歴史を説明していくことが大切であるという事が分かった。
- 魅力ある塩竈にするには、市民一人ひとりが街を愛することが必要だと思う。道を歩いていて、ゴミが落ちていたら拾う心などが大切ではないか。
- 情報の発信が最も重要ではないか。
- 広報紙のページを増やして、身近に参加したくなる様なメッセージを出して欲しい。
- 宮原先生のご意見の塩竈マップを必ず作って、駅やマリングートにおいて欲しい。
- 衰退しつつある市の現状を見るに堪えない。
- 7年来ホテルの里づくり運動を行い、昨年保存会を結成して環境保全に取り組んだ。結果として純粋の塩竈ゲンジボタルが4~50匹飛翔した。将来これが定着すれば観光にも役立つと思う。現在、会員51名で、NPO法人化に向けて頑張っている。
- 塩竈~浜田間のR45線沿いの歩道が完成予定である。あとは浜田から壮観山の間歩道が出来れば、塩竈~松島間が歩いて、自転車でも行けるようになり、船と歩道の利用で塩竈観光の滞留が図られるようになる。
- 魚は通常50%しか利用されていない。従って200円(1キロ)の魚は400円となり高いものとなる。魚を100%利用する方法を開発するとともに商品も開発し、全国に発信すると思う。

### 【まちづくりについて】

- 大人の私たちが、「塩竈はいいよ。魚はおいしい、神社は誇れるし、塩竈いいよー」と口に出して言うことが必要だと思う。
- 本町の空き店舗を利用して、笑いの絶えないお店を作りたい。「あそこの店に行くと腹を抱えて笑えるよ」というような店、おしゃべりしているだけなのに笑える、母ちゃんの茶っこ飲みで笑って帰れる店が作れたらいいと思う。
- 同業種店舗の集団化（小さくても）を図るべき。
- お土産店を整備すべきだと思う。
- 今一つ商店の対応が愛想ない、と外の人から言われた事がある。
- 交流とあるが、水産加工場で働いている中国人との交流も重要ではないだろうか。

### 【地域資源を活用した新商品開発について】

- 新商品は商工会議所ニュースなどで特集して欲しい。
- この機会に少しでも試食や皆さんに見えるように商品を出して頂ければ、何とかわかって友達同士に宣伝できると思う。
- 商品をもっと市民にアピールして欲しい。
- 藻塩について、ベースとなる塩を最大限アピールすることが大事と思う。博多の塩の様に、全国ブランドになれば他の商品も自然に売れると思う。
- 港町塩竈のシンボルとして観光人形があるといい。
- PR商品を見る場を大事にするべきである。
- 塩竈市民向け、藻塩や酒類を使った商品の試食会を開催してはどうか。
- 塩竈市民一人ひとりが歴史、文化、食などの知識を勉強し、観光客の方々に少しでもPRしたい。
- 塩竈の地域資源を生かした商品を試食して、多くの方々に広めて行きたいと思った。
- こんなに開発商品がある事を知らなかった。
- せっかくのシンポジウムですので、試食品も用意すればより多くPRできるのではないかと思う。口だけの説明では分からない。
- 塩竈の開発商品がどこで販売しているのか分からないので、マップの中に駐車場や土産屋、散歩コースや街歩きの順序などをはっきりと標示して欲しい。
- 地域資源の開発に努力している方々に心から感謝いたします。

### 【シンポジウムについて】

- 塩竈市民の一人として大変勉強になった。自分の認識不足も明らかになった。
- パネリストの方々の専門領域からの興味深い話などは、目からウロコで、ヒントになった。
- シンポジウムでいろんなお話を聞き、塩竈をどうにかしなくてはと思った。元気な塩竈になることを祈る。
- もう少しユーモアの話をして頂ければ良いと思う。
- 長総の歴史が語ることとして、今日のシンポジウムは大変良かった。
- 本日のようなシンポジウムの開催は年に1,2回続けて欲しい。
- パネラーの意見はもっともである。大いに参考とすべきだ。
- まず基本は市民生活の充実である。
- シンポジウムの開催方法が従来のやり方でなく、一步退いた講演という感じがした。
- 「産業」「観光」に関するパネリストの意見も大変参考になったが、「教育・福祉」に関するパネリストの意見も聞いてみたかった。
- 自分の住んでいる塩竈についていかに何も知らなかったかを知らされた。
- パネラーのご意見・構想を当市の現状打開に役立たせたいと思う。
- 市民の声を聞いた中で、コメンテーターの2度目の話があった方が良いのではないかと思った。
- パネリストの建設的意見を聞いて、塩竈を再発見し、誇りに感じた。